

〔 6 〕 地球温暖化対策

6-1 概要

近年、地球温暖化はひっ迫した問題として顕在化し、世界共通の持続可能な開発目標である SDGs、また、パリ協定に基づく温室効果ガス（主に CO₂）の削減など、環境施策の推進は地球規模で動いています。

この地球温暖化については、日本だけではなく世界中の問題として取り上げられています。

このまま地球温暖化を防止する対策に取り組まないと、気候変動により平均気温が高まるというだけでなく、それを要因としてさまざまなことに影響が及ぶと予想されているからです。

そのため、今を生きる私たちは、地球温暖化問題と向き合い、それを防止する取り組みを理解し、実践していかなければなりません。

町では地球温暖化対策のため、「COOL CHOICE＝賢い選択」への賛同の宣言や神奈川県地球温暖化防止活動推進員と連携し、二酸化炭素排出量削減のための啓発活動を実施することで、町民、事業者が率先して取り組めるような事業を実施するとともに、温暖化対策の取り組みが町内全域に広がるよう努めています。

6-2 啓発活動

（１）エコドライブキャンペーン

神奈川県地球温暖化防止活動推進員・ガールスカウトと合同で、町内の大型店舗にて、のぼり旗を掲げ、エコドライブを呼びかけるチラシを配布しました。

実施日 令和元年 11 月 24 日（日）

場 所 町内大型店舗（２店舗）

（２）エコライフにチャレンジ

町内小中学生児童を対象に、夏休みと冬休みに節電やごみの削減など家庭でできるエコ活動のチェックシートを配布し、地球温暖化対策への意識啓発を行いました。

配布枚数 夏休み 計 2,029 枚（小学校 3 校及び中学校 2 校）

冬休み 計 2,062 枚（小学校 3 校及び中学校 2 校）

6-3 グリーン購入

グリーン購入とは、製品やサービスを購入する際に、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入することです。グリーン購入は、購入者自身の活動を環境にやさしいものにするだけでなく、供給側の企業に環境負荷の少ない製品の開発を促すことで、経済活動全体を変えていくことが期待されています。

平成 13 年 4 月に「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」が施行されたことを受け、町では平成 15 年 8 月「二宮町グリーン購入基本方針」を策定し、環境に配慮した物品を購入するよう努めています。

6-4 公共施設等の新エネルギー活用状況

エネルギー区分	施設名称	所在地	設置年度	設置台数	発電容量合計	利用方法等
クリーンエネルギー自動車	ハイブリッド自動車	—	平成27年	1	—	公用車利用
太陽光発電	二宮町ふたみ記念館	山西 1953-1	平成23年	1	4.80kw	施設の稼働電力として利用、余剰電力は売電
太陽光発電	二宮町ウッドチップセンター	緑が丘 1-12-2	平成27年	1	5.50kw	施設の稼働電力として利用
太陽光発電	二宮町立二宮小学校	二宮 872-1	平成27年	1	11.52kw	施設の稼働電力として利用

6-5 太陽光発電システム設置工事助成

新エネルギー導入を推進するため、平成21年度から住宅用太陽光発電システムを自宅に設置する方に、設置費用の一部を補助する「住宅用太陽光発電システム設置費補助事業」を行っていましたが、この事業は平成24年度で終了しました。

平成25年度から、太陽光発電システム設置工事は、住環境の向上と地域経済の活性化を目的とした「住宅リフォーム助成制度」の助成対象になりました。

なお、太陽光発電システム設置工事助成を対象とした「住宅リフォーム助成制度」については、令和元年度で終了しました。

助成対象 町内業者を利用して住宅をリフォームされた方

募集件数 30件

助成件数 30件（太陽光発電システム設置工事 助成件数 0件）

助成金額 20万円以上のリフォームで一律5万円